

# ビール麦 金子ゴールデン記念碑

## 建立式典



日時：平成18年10月16日

会場：氷川神社

金子ゴールデン記念碑

建立実行委員会

## ご挨拶

記念碑「ビール麦・金子ゴールデン発祥の地」がここに建立され、大勢の皆様のご臨席のもと、式典が執り行えますことは、主催者として喜びにたえません。

明治33年(1900)、北豊島郡中新井村の金子丑五郎翁が外国種と国産種の自然交雑の中から選抜したビール麦・金子ゴールデンを育成して、はや、百余年が経過しました。

金子ゴールデンは、早生で草丈が低いために、成熟しても倒れにくいことから、栽培しやすく、一時は「矢羽」の愛称で、関東一円に栽培が広がりました。戦後は、この種子を親とした優良品種が育種されたことから、それらにとって代わられました。農家経営の安定に果たした役割は大きなものがあります。

今日、ビール麦の品種改良や、醸造技術の著しい発達により、ビールは庶民生活に無くてはならないまでに好まれていきます。

このようなことから、平成15年かつて栽培に励んだ生産者達から、初期の我が国ビール醸造に貢献した、翁の功績を後世に伝えようとの声(こゝろ)が澎湃としてわき起こり、農業生物資源研究所から取り寄せた一握りの金子ゴールデンを、繰り返し栽培するという努力によって、本日、ビール麦の使命である醸造により、ビールの黎明期、明治の味が復活するまでにいたりしました。

最後に、金子家の産土様・豊玉氷川神社の境内に記念碑を建立するにあたり、ご理解とご協力をいただきました皆様と、金子ゴールデンの栽培にご努力いただいた生産者の皆様、ビール醸造にご協力をいただいた関係各位に感謝を申しあげ、ご挨拶といたします。

平成18年10月16日

金子ゴールデン記念碑建立実行委員会

会長 木村 繁夫

## ビール麦・金子ゴールデン発祥の地

(碑文)

ビール麦「金子ゴールデン」は、明治33年(1900)篤農家金子丑五郎によって東京府北豊島郡中新井村の当地で育成された。

翁は、江戸末期の文久元年(1861)10月20日に生れた。

優れた先見性と旺盛な研究心、地道な努力を積み重ね、米麦をはじめ野菜の品種改良にも情熱を傾け、近郊農家の経営安定に大きく貢献した。特に国産ビールの需要拡大を予見し、輸入品種と国産種の自然交配から「金子ゴールデン」を選抜し育成した。

つくりやすい性質から当地では「矢羽」の愛称で、昭和25年(1950)頃まで盛んに生産されていた。

翁が改良した種子は、貴重な遺伝資源として「独立行政法人 農業生物資源研究所ジーンバンク」に永久保存されている。

練馬区豊玉が生んだ翁の功績を地域文化として伝承し、都市農業の振興のため、平成15年翁を慕う農民等が相集い栽培を復活した。

ここに碑を建立し、多くの人々が喜びを共有して国産ビール黎明期の味を楽しんだことを後世に伝える。

平成18年10月吉日

金子ゴールデン記念碑建立実行委員会

## 経過報告

- 平成15年2月 顕彰碑建立実行委員会・発起人会開催。  
3月に実行委員決定、5月に顕彰碑建立  
予定地(氷川神社)を視察した。
- 平成16年4月 JA東京あおば理事会にて、金子ゴール  
デンの収穫、記念碑建立をJA東京あお  
ばの事業の一環として取り組むことを決  
定した。
- 平成16年11月 錦・加藤源蔵氏、平和台・渡戸章氏、土  
支田・小島廣吉氏、田柄町・吉田明氏の  
協力を得て、3カ所の圃場(3反5畝)にビ  
ール麦を播種。
- 平成17年6月 ビール麦を刈り取り、脱穀した。収穫は  
600kgであった。
- 平成17年10月 実行委員会を開催し、下記事項を決定した。  
1) 実行委員会を再構築し、木村組合長  
が会長に就任する。  
2) JA東京あおばが主催者となるため、  
実行委員に①JA東京あおばの常勤  
役員②各地区から非常勤役員2名ず  
つ計8人③各地区の青壮年部代表者  
1名ずつ計4人④金子ゴールデンの生  
い立ち、金子丑五郎翁宅の系譜等を  
よく知る練馬地区の旧役員、JA東京  
教育センター学園長等とする。  
3) JA東京あおば元会長、前組合長、練  
馬区長、豊玉氷川神社宮司等には名  
誉会長、顧問、監事を依頼する。  
4) 事務局はJA東京あおば指導部職員  
が担当する。

## 実行委員会

会 長	木 村 繁 夫		
名 誉 会 長	加 藤 源 蔵		
副 会 長	加 藤 和 雄	橋 本 晴 夫	
	保 戸 塚 節 子	内 田 富 雄	
幹 事 長	渡 戸 章		
副 幹 事 長	奥 津 稔	増 田 懸 雄	
監 事	奥 津 亀 嘉	小 島 廣 吉	
相 談 役	大 竹 道 茂		
委 員	小 美 濃 勇	市 川 実 好	
	相 田 稔 朗	五 十 嵐 兼 次 夫	
	荒 井 市 郎	西 ケ 谷 重 夫	
	富 岡 愼 一 郎	宮 部 忠 孝	
	富 岡 忠 明	吉 田 茂 雄	
	酒 井 利 博	沖 山 利 通	
	平 沼 信 男	近 藤 茂 雄	
	吉 田 明		
事 務 局	遠 藤 明	渡 邊 和 嘉	
	島 野 隆 行	奥 山 久 男	
	山 口 文 夫		

<順不同>

## 金子ゴールデン記念碑 建立式典式次第

### 一、除 幕 式

### 一、開 会 ( 直 会 )

### 一、実行委員会会長挨拶

### 一、経 過 報 告

### 一、感 謝 状 贈 呈

### 一、来 賓 祝 辞

### 一、謝 辞

### 一、乾 杯

### 一、懇 談

### 一、中 締 め

### 一、閉 会

